

下田メディカルセンター広報誌

# 下田MCLター

2023.9.1 発行

vol. 31



**検査共同利用のご案内**

**下田地区消防組合との勉強会**

**大腸内視鏡検査入院のすすめ**

**医療安全活動 (リスクマネジメント部会)**

**第52回メディカル健康講座 開催報告**

## 大腸内視鏡検査入院のすすめ

下田メディカルセンターの3A病棟は一般急性期内科病棟です。入院患者は高齢者が多く、近隣の病院で高度な治療を終えた方も転院してきます。急性期の疾患以外にも様々な背景、事情、病態のある患者層を受け入れています。



例えば、大腸内視鏡の予約入院もその一つです。大腸カメラの検査は食事、下剤、排便の観察等患者様が主体的に行うことが多く、ご本人やご家族様は不安を感じることも多い検査です。そのような方は2泊3日で入院を受け入れています。患者様やご家族様は医師や看護師に見守られた環境で安心して検査を終える事ができます。とてもよい仕組みだと思います。



今後も地域や患者様ご家族様のニーズに添えるような入院の受け入れをしていきたいと思っております。

3A病棟 看護科長 及川 千夏

## 下田メディカルセンター 医療安全活動(リスクマネジメント部会)

下田メディカルセンターのリスク部会は、安全な医療を提供するため、各部署の担当者が中心となって日々活動しており、年2回の全職員対象研修会を実施しています。コロナ禍で集合研修が実施できない期間はテスト形式やeラーニングなどでの研修を行ってきましたが、5月に新型コロナウイルスが5類相当となり、6月28日KYT（危険予知トレーニング）について全職員対象の医療安全研修会を実施しました。KYTは、絵や写真を見て、潜んでいる危険性を早めに察知することで対応策を考えるトレーニングです。前年度に4枚の絵を提示して全職員対象に回答を求めました。研修会では、その中から2枚の絵を提示して参加者に潜んでいる危険やこれから起こるかも知れない危険な出来事を考えてもらいました。いろいろな意見が発表され、参加型の研修会が実施できました。各個人の予知力や想像力から出てくる回答はとても興味深く、笑いが起こる場面もありました。

これからも安全を確保するためにすべての職員が医療安全に関するアンテナを高くして、日々業務することがとても大切だと考えています。

下田メディカルセンター 医療安全管理者 宗村 礼子



## 下田地区消防組合との勉強会

医師と消防職員の連携強化、顔の見える関係づくりを目的に賀茂地区の消防職員に来院頂き勉強会を開催しました。

尾崎医師より搬送患者の重症度の見極め方、腹痛を伴う様々な疾患それによる重症性。特に腹痛に関しての触診の重要性について、痛みの部位や腹壁の張り具合などは触ってみないと解らない。そこで得られた患者の反応を医師に伝えてくれるとありがたい。沢山触った数だけ変化に気付くことが出来る様になると説明をされていました。

勉強会終了後には質問時間を設け、尾崎医師と消防職員との活発な意見交換がなされました。



## 検査共同利用のご案内

下田メディカルセンターでは、地域の医療機関の先生方にも幅広く当院の検査機器をご利用頂けるよう、**【検査共同利用】**の予約を承っております。

結果は、画像検査は画像データをCDにコピーし当日患者様にお渡ししています。超音波検査は検査の翌日（週末は週明け）に画像診断報告書とCDを医療機関に郵送。ホルター心電図、ABI、CAVI、VC検査、FVC検査、骨塩定量検査は報告書を当日患者様に渡しています。

また画像検査に関しては、読影によるレポート依頼も承っております（読影はグループ法人の海老名総合病院放射線医に依頼）。

### 利用できる検査

- 画像検査** ●CT検査:64列マルチスライス ●MRI検査:1.5T  
●マンモグラフィー ●骨塩定量検査 ●胸部X線写真検査
- 超音波検査** ●腹部エコー検査 ●表在エコー検査 ●心臓エコー検査 ●血管エコー検査
- 心電図検査** ●ホルター心電図検査
- 呼吸機能検査** ●VC検査 ●FVC検査 ●ABI検査・CAVI検査

### ご予約方法

- ① 各種検査依頼書（診療情報提供書）をご記入頂き、当院 地域医療連携室宛にFAXし、電話連絡を下さい  
（各種検査依頼書は当院ホームページのサイトバナー【医療関係者】をクリック、  
【検査共同利用のご案内】の下にあります【各用紙のダウンロード】よりご利用ください。）
- ② 受診日のご予約をします
- ③ 当院より予約確認票をFAX送信しますので患者様へお渡しください
- ④ 検査実施
- ⑤ 検査終了後、通常2～7日程度で結果を郵送します

※至急の場合、当日結果をお渡しできる検査もございます。患者さまへの手渡しを望まれる場合はご相談ください。

ご不明な点等ありましたら、地域医療連携室にお気軽にご相談ください。

地域医療  
連携室

TEL:0558-25-3535  
FAX:0558-25-1616

## 第52回 メディカル健康講座 開催報告

6月24日(土)、第52回メディカル健康講座を開催しました。新型コロナウイルスの蔓延による感染予防の為に、2020年1月25日第43回の講座以降はケーブルテレビ放送となっていました。新型コロナウイルス感染症が5月8日に「5類感染症」へ変更されたことに伴い、感染防止対策を図り会場を下田市文化会館の大会議室に移し、3年半ぶりに住民の皆様と顔を合わせての講座開催となりました。

今回は【新しい時代を迎えた股関節疾患の治療～我慢から治す時代へ～】と題し、当院整形外科外来で第4金曜日に診察を行っている草場敦医師を講師に迎え、約1時間30分講演となりました。

参加人数は60名。講座終了後は草場医師による個別相談も行われ9名が参加されました。

やはり直接住民の皆様とお会いして行う講座は、ライブ感があり緊張はするもののそれがこころよく皆さんの声を直に伺え、開催する側も有意義な時間を住民の皆様と共有することが出来ました。

先生は当院のグループ法人座間総合病院の副院長で、同人工関節・リウマチセンターのセンター長でもあり、当センターは日本で初めての人工関節専門病院です。実績は、

人工股関節手術 実績累計実績 7,476件、年間実績330件 (2022年1月～12月)

人工膝関節手術 実績累計実績 3,029件、年間実績202件 (2022年1月～12月)

となっております。

現在当院では整形外科常勤医が不在の為に手術は行っておりませんが、講座に参加された方の中には、人工関節・リウマチセンターでの手術を希望された患者様が数名いらっしゃいました。

草場医師は股関節を専門としており、医師のモットーは「再置換のいない、最高水準の人工股関節手術を提供したい。」です。お困りの患者様がいらっしゃいましたら、草場医師にご相談、紹介下さい。



### 編集 後記

MCレター第31号をお読み頂きありがとうございます。上記にある通り、3年半ぶりに聴講者を入れ健康講座を行うことが出来ました。久しぶりに行った講演であったのにも関わらず、多くの方に聴講して頂けました。今後も定期的に開催していく予定でありますので、多くの方に参加いただけます幸いです。皆さんの中で、「こんなことを聞いてみたい。」「〇〇について知りたい」等ございましたら、今後の参考にしたいので教えて頂ければと思います。



### 発行 下田メディカルセンター

〒415-0026 静岡県下田市6丁目4-10  
TEL.0558-25-2525 FAX.0558-25-5050  
<http://www.s-m-a.or.jp/shimoda/>

発行責任者 地域医療連携室長 浅野 好章

伊豆急下田駅から徒歩10分圏。路線バスのバス停も目の前にあり、電車やバスでスムーズに来院いただけます。また、敷地内に300台収容の駐車場を用意しております。



### SHIZUOKA MEDICAL ALLIANCE 医療法人社団 静岡メディカルアライアンス 運営施設

#### みなとクリニック(外来)

〒415-0152 静岡県賀茂郡南伊豆町湊674  
TEL.0558-62-0005

#### なぎさ園(介護老人保健施設)

〒415-0152  
静岡県賀茂郡南伊豆町湊674  
TEL.0558-62-6800

#### しらはまクリニック(外来)

〒415-0012 静岡県下田市白浜1528-2  
TEL.0558-27-3700